

COCOA de Go To ～ほっと安心できる世の中に～

班長:羽山知希 副班長:栗原琉輔 データベース担当:川瀬理子・堤彩乃 オンライン担当:水野瑛介・吉村洸
担当教員:糸井川栄一 TA:蒲倉光

第1章 中間発表までの流れ

1.1 はじめに

2020 年初めから日本でも新型コロナウイルス感染症の感染が広がっている。一人ひとりの感染予防行動が重要であることは言うまでもないが、感染拡大を防ぐには、感染者との濃厚接触が疑われる人物を早急に発見し、検査や自宅待機等の適切な対応をとり、無用な感染拡大を抑えることが重要である。

1.2 接触確認アプリ COCOA の登場

陽性者と接触した可能性を伝える仕組みとして、日本では COCOA という接触確認アプリが導入されているが、その認知度や普及率は未だ不十分であると思われる。我々は COCOA の普及率を高めるにはどうしたらよいのか疑問に思い、ポイントなどのインセンティブを付与することが COCOA のインストールを促すのではないかと考えた。

1.3 Go To キャンペーンの実施

一方で、自粛により停滞した経済活動を促進するために、Go To キャンペーンが発足している。この企画によって人の移動や集中の機会が増え、ウイルスに対する危機意識の低下を招いているのではないだろうか。また、最近の第3波とも報道される感染の拡大は、Go To キャンペーンに起因するものとの指摘やそれを否定する見解も報道され、新型コロナウイルス感染に対する人々のリスク認知に留意する必要がある。Go To キャンペーン実施下でもできるだけ感染拡大を抑制するための方策が必要である。そこで、Go To キャンペーン利用時に COCOA のインストールや継続的な使用が必須事項であれば、感染拡大を防ぐ有効な手段の一つになるのではないかと考えた。

1.4 目的

以上の背景から、本演習では、人々の新型コロナウイルス感染に対するリスク認知と、Go To キャンペーンの利用意向と COCOA インストール受容性を調査することによって、次の4点について明らかにすることを目的とする。

1. COCOA インストールに対する受容性
2. インセンティブ付与による COCOA のインストール受容性促進の可能性
3. Go To キャンペーンがもたらした新型コロ

ナウイルス感染症に対するリスク認知・感染防止行動への影響

4. Go To キャンペーン申請時に COCOA インストール・継続使用を義務化することによる COCOA インストール受容性促進の可能性

1.5 調査方法

新型コロナウイルス感染症に対するリスク認知と Go To キャンペーン、接触確認アプリ COCOA の認識と利用意向を把握することを目的とし、また中間発表までに挙げられた様々な仮説を検証するべく、「新型コロナウイルス接触確認アプリ COCOA の利用に関するアンケート」という内容でアンケート調査を実施することにした。主に筑波大学生を対象とし、Microsoft の forms を用いて調査を行う。

第2章 仮説

中間発表で説明した通り、10代・20代の若者は陽性者の多さと比較して無症状感染や軽症感染の場合が多い。これが若者にコロナウイルスへの意識の低下をもたらし、重症化リスクがより高い他の年代への感染拡大にもつながっていると思われる。したがって、若者に対して感染防止の方策を提示することが、全体の感染拡大防止につながると考え、我々にとって身近である筑波大生を中心に調査を進めるとともに、比較対象として筑波大学の教職員へも同様の調査の協力依頼をすることにした。

我々は Go To キャンペーンやインセンティブ付与を利用することによる COCOA のインストール促進に関する以下の4つの仮説を立てた。

1. Go To キャンペーンの登場により、以前より新型コロナウイルス感染症に対する危機感が低下し、感染対策が行われなくなった
2. 「自分が新型コロナウイルスに感染する可能性は低い」と考えている人ほど Go To キャンペーンを利用している、あるいは利用したいと考えている
3. Go To キャンペーン申請時に COCOA のインストール・利用が義務付けられるとしたら、COCOA をインストールする人が増加する
4. COCOA を継続的に利用することでポイント

などのインセンティブを得られるとしたら、COCOA の普及率は向上する

第3章 アンケート調査結果

3.1 アンケートの内容

仮説の検証のために設けたアンケートの内容は以下の通りである。

1. 新型コロナウイルス感染症に対するリスク認知と感染予防行動
2. COCOA のインストールの現状、インストール意向とその理由
3. Go To キャンペーン利用の現状、利用意向とその理由
4. Go To キャンペーン利用時の COCOA インストール義務化の受容性
5. インセンティブ付与による COCOA インストール受容性

3.2 アンケート概要

表 1 にアンケートの概要を示す。222 人の回答者のうち、性別は女性 95 人、男性 123 人、回答したくない 4 人であった。所属は学類 1 年 25 人、2 年 32 人、3 年 19 人、4 年 25 人、大学院 1 年 29 人、2 年 34 人、教職員 58 人である。

表 1 アンケート概要

調査方法	Microsoft forms
調査対象	筑波大学関係者(学生及び教員)
調査期間	2020 年 11 月 16 日～11 月 25 日 合計 10 日間
回答数	222

3.3 仮説の検証と考察

3.3.1 仮説 1

仮説 1 を検証するために、『「Go To キャンペーン」を知って、新型コロナウイルスに対する意識の変化があれば教えてください』という設問と回答者の年代別のクロス集計を行った結果を図 1 に示す。

この図を見ると、どの世代も多くは「変わっていない」と回答しているが、特徴的なのは 20 代の人「変わっていない」以外の選択肢にも多く回答していることである。Go To キャンペーンを契機として、新型コロナウイルス感染の脅威が少なくなったと判断している人が少なからずいることが分かる。この原因としては、若年層の致死率、重症化率が低いとの報道がされており、本アンケート調査でもその傾向が窺われるため、とも考えられるが定かではない。

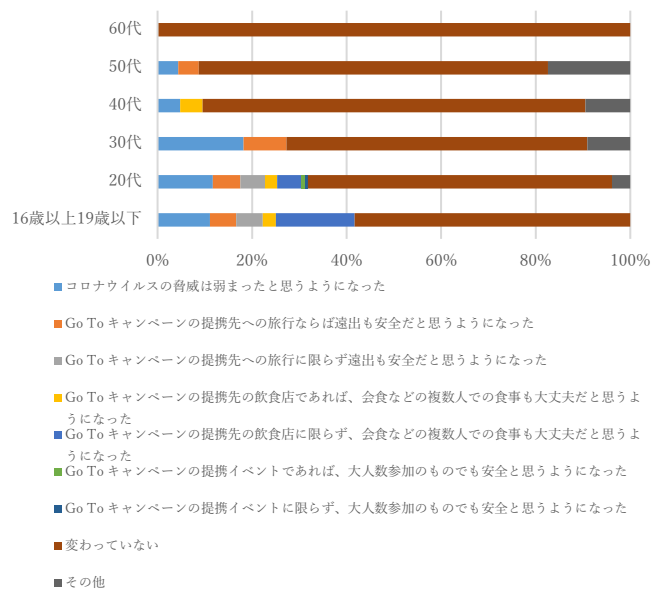


図 1 新型コロナウイルスに対する意識変化

3.3.2 仮説 2

今後(または今後も)Go To キャンペーンに参加したいと考える回答者の割合は、Go To トラベルで約 7 割、Go To イートで約 6 割に上った。仮説 1 での傾向がみられたため、回答者を学生と教職員に分け、Go To キャンペーンへの参加意思と新型コロナウイルスへの感染リスク認知についてクロス集計を取った。その結果を以下の図に示す。

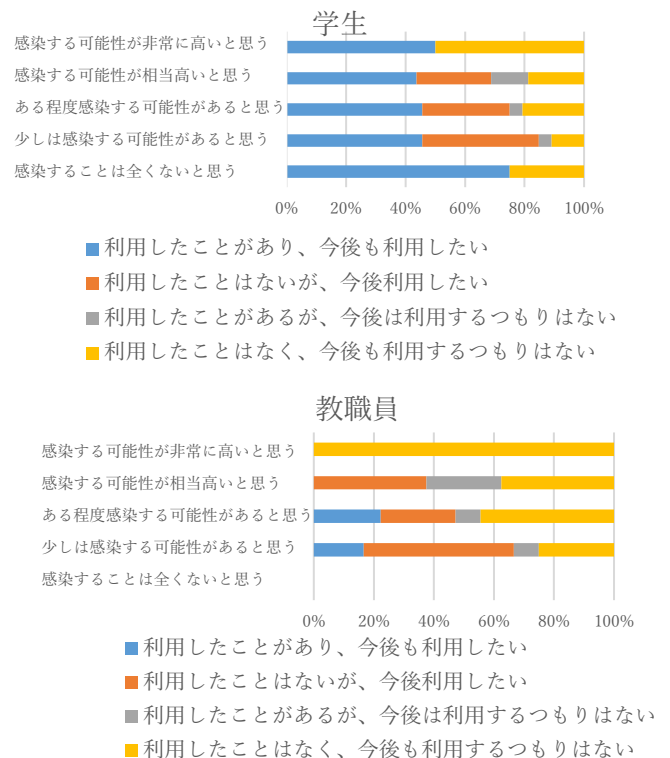


図 2 Go To トラベル

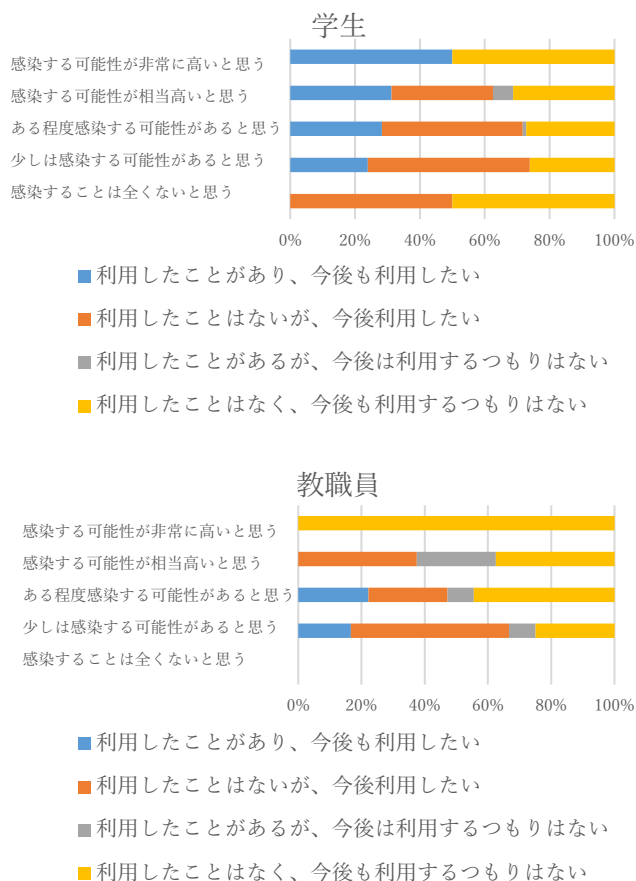


図3 Go To イート

Go To トラベルと Go To イートの両方について、学生も教職員も、おおむね感染リスク認知が低い回答者ほどキャンペーンへの参加意欲は高く回答した。感染リスク認知の高さと Go To キャンペーンへの参加意欲の高さには負の相関があり、仮説が成立しているといえる。また学生は、感染リスク認知が高くてもキャンペーンへの参加意思を教職員よりも高く示している。これについて、学生は新型コロナウイルスへの感染を教職員より恐れていない、一定の感染リスクを感じていてもキャンペーンによる感染リスクは高く捉えていない、などの理由が考えられる。

Go To イートについては、学生も教職員も、感染リスク認知が高い回答者ほど利用したことがある割合が大きい。実際に Go To キャンペーン利用して感染症対策がされていないことを実感し、「感染する可能性が非常に高い」を選択している可能性が推測できる。

3.3.3 仮説3

仮説3を検証するために、「Go To キャンペーンの利用に当たって、COCOA インストールと一定期間の使用を義務化する」ことに関する受容性を見た。それによると、高い割合を占める「すでに COCOA インストール済」を理由として、そのまま Go To キャンペーンを利用する」者を除いて、「新たにインストールした

上で、Go To キャンペーンを利用する」と答えた割合が高く(27.9%)、「COCOA インストールの如何に関わらず、Go To キャンペーンは利用しない」が続く(19.3%)。「COCOA はインストールしたくないので、Go To キャンペーンは利用しない」5.8%、「Go To キャンペーンに参加する全員が COCOA をインストールする義務を負うなら、自分も Go To キャンペーンを利用する」5.4%は少数であった。

この結果から、COCOA インストール済の人は当然として、COCOA インストール義務の有無にかかわらず Go To キャンペーンを利用しない人を除けば、ほとんどの人が、Go To キャンペーンを利用するに当たって COCOA をインストールすることを受容しており、仮説は十分に成り立つと考えられる。

また、上記の設問と COCOA インストールの現状及びインストール意向を問う設問のクロス集計をとったところ「機能を調べてからインストールする」は約7割、「インストールしたくない」は1半数の人が Go To 利用のためにインストールすると回答をしているために、義務化によるインストール者の増加は十分見込める。

3.3.4 仮説4

インセンティブとして、COCOA インストール及び3ヶ月の継続使用によって、d ポイントや punta ポイントなどの流通しているポイントを付与することを条件に、数種類のポイント数を示して、インストールの意向を尋ねた。

まず、ポイント数は関係なく単純にポイントを付与する制度を設けた際に COCOA を利用するかどうかを尋ねたところ「積極的に利用したい」、「継続的な利用は難しいが興味はある」と回答した人は約7.5割でポイント付与においては比較的良好な印象を得られていて、COCOA 継続利用においてポイントは効果的な手段のひとつであると考えられる。さらにポイント条件開示前の COCOA のインストール状況と上記質問のクロス集計を行った結果を図4に示す。

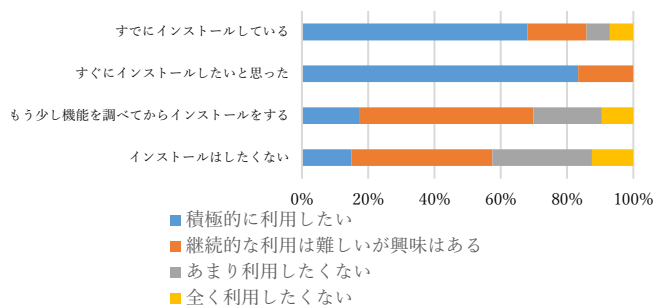


図4 ポイント付与制度によるインストール受容性

この図から、COCOA インストールに対して既に積極的な人たちほど、ポイント付与に対しての興味があり、これに対して COCOA インストールに対して消極的な人たちにおいてはあまりポイント付与に関して大多数の人が興味を示しているわけではない結果となっている。このような結果から、新型コロナウイルス感染症に対してリスクが高いと感じている人ほど COCOA が自分に必要かどうかはわかっているということが考えられる。

そして、具体的にどれほどのポイント数を付与するのかを仮定した上での COCOA インストール意向に与える影響を調べたのが図 5 である。

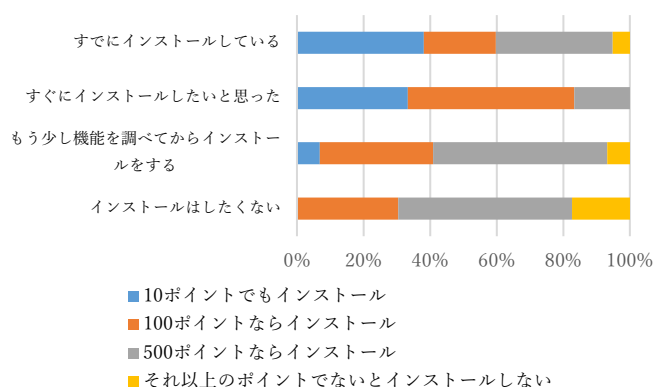


図 5 具体的なポイント数とインストール受容性

COCOA インストールに対して積極的な人は、少ないポイントでも COCOA を利用すると回答しているのに対し、COCOA インストールに対して慎重な人でも、高いポイントが付与されればインストールする傾向にあるという結果が得られた。

第4章 まとめ

4.1 提言

以上のアンケート調査、及び仮説の検証結果から、COCOA インストール促進に向けた提言を掲げる。

COCOA インストール促進において、重要なことは他サービスとの連携であるということである。本演習では流通しているポイント、及び Go To キャンペーンを他サービスの例として取り上げたが、どちらも連携を取り入れることで COCOA インストール受容性が上がるという結果が得られた。よって、他サービスと COCOA の連携を検討する価値は大いにあると考えられる。

4.2 今後の課題

COCOA 普及率が低迷している現状を変えるべく Go To キャンペーンやポイント付与を COCOA イン

ストールの動機として、インストール促進を目指していたが、COCOA の普及率が低迷していることには様々な要因があると考えられる。例えば、COCOA に関する報道の少なさや、新型コロナウイルス感染症に対する危機感の薄まりなどが考えられる要因である。これらの要因を改善していくようなアプローチも COCOA インストール促進に向けて求められる。

また、本演習で行ったアンケート調査において、インセンティブ付与における COCOA インストール受容性を調べる設問では具体的な数字を用いたことで架空の世界を想像させ、回答者がバイアスを持った状態での回答が得られてしまったため、正確な結果は得られていないと考える。この点に注意したアンケートの作成のもとでの調査が今後は必要になる。

謝辞

アンケート調査にご協力いただいた、筑波大学関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

そして、本演習においてたくさんのご指導をいただきました、糸井川栄一先生、TA の蒲倉光さんに感謝申し上げます。

参考文献

- (1) 「前橋市；新型コロナウイルス接触確認アプリの運用が開始されました」
<https://www.city.maebashijunma.jp/kurashi_tetsuzuki/covid19_info/1/1/24514.html> (最終閲覧：2020.11)
- (2) 『YAHOO!ニュース；ダウンロード数は人口の約14%だけど効果は？接触確認アプリ「COCOA」』
<<https://news.yahoo.co.jp/articles/4eaa1f8b273ec1c2877856aad4aec0b8f86e5991>> (最終閲覧：2020.11)
- (3) 「AdverTimes；広告ブロックに自主基準をGoogle、業界各社と対話の構え」
<<https://www.advertimes.com/20151104/article208593/>> (最終閲覧：2020.11)
- (4) 「厚生労働省；新型コロナウイルス感染症の国内発生動向」
<<https://www.mhlw.go.jp/content/10906000/000689607.pdf>> (最終閲覧：2020.12)
- (5) 「厚生労働省；新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)」
<<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000691700.pdf>> (最終閲覧：2020.11)
- (6) 「国土交通省；令和2年度国土交通省関係補正予算の概要」
<<https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001339698.pdf>> (最終閲覧：2020.11)
- (7) 「厚生労働省；接触確認アプリ利用者向けQ&A」
<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/covid19_qa_kanrenkigyuu_00009.html> (最終閲覧：2020.11)